

先進医療の届出状況について(8月受付分)

整理番号	先進医療名	適応症	先進医療費用 (自己負担)	特定療養費 (保険給付)	技術の 概要	受付日
4	自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)(2医療機関)	直腸粘膜脱、内痔核	5万5千円 (1回)	15万9千円 (入院3日間)	別紙1	平成17年 8月15日
		直腸粘膜脱、内痔核	7万9千円 (1回)	14万3千円 (入院2日間)		
5	遠赤外線均等低温サウナ浴による温熱療法	心不全	12万2千円 (20回)	129万1千円 (入院62日間)		
6	画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術計画	前十字靭帯損傷、後十字靭帯損傷	13万3千円 (1回)	55万1千円 (入院13日間)		

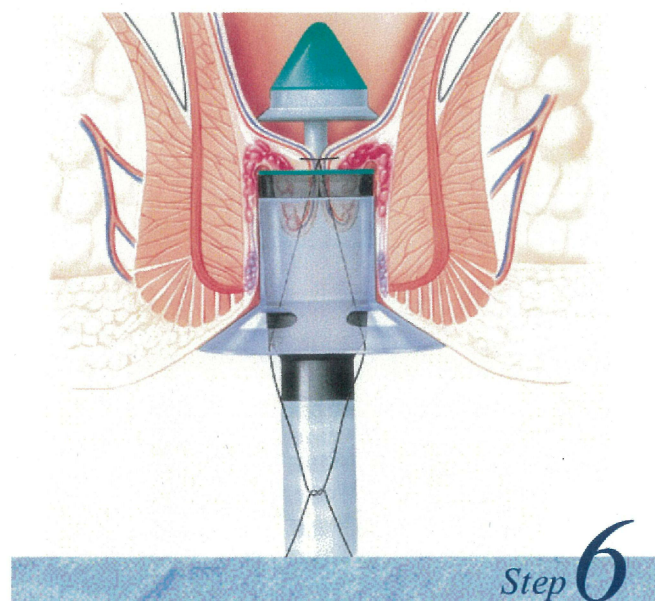
先進医療の内容（概要）

先進医療の名称	自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）				
適応症					
<ul style="list-style-type: none"> ・直腸粘膜脱 ・内痔核 					
内容					
<p>（先進性）</p> <p>自動吻合器を用いた痔核手術では、既に保険適用されている根治術と比較して、より低侵襲な手術が可能であり、患者の負担が軽減される。</p> <p>（概要・効果）</p> <p>痔核手術として既に保険適用されている根治術は、肛門部皮膚を切開し、痔核につながる根部血管及び痔核を結紮・切除するもの。一方、自動吻合器を用いた痔核手術（PPH）は、専用の自動吻合器を用い、痔核そのものを切除せず、痔核の上方にある脱出した直腸粘膜と血管を環状に切除、吻合し、痔核を正常の位置へと吊り上げ、縮小させるものである。</p> <p>従来の方法と比べて侵襲を低減でき、肛門周囲の皮膚を切開しないため術後疼痛が少なく、従来法では1週間程度であった入院日数が4日程度まで短縮するなど、より短期間での退院が可能になる。</p> <p>（費用）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">先進医療に係る費用（自己負担）</td> <td>5万5千円（1回）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">特定療養費（保険給付分）</td> <td>15万9千円（入院3日間・通院1日間）</td> </tr> </table>		先進医療に係る費用（自己負担）	5万5千円（1回）	特定療養費（保険給付分）	15万9千円（入院3日間・通院1日間）
先進医療に係る費用（自己負担）	5万5千円（1回）				
特定療養費（保険給付分）	15万9千円（入院3日間・通院1日間）				

自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（P P H）



用いられる吻合器



粘膜吻合の模式図

(ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 <P.P.H. Surgical Technique>より)